

沿道掘削施工協議の手引

本書をよくお読みのうえ、作成してください

- 1 協議書類は、正・副・控え 計3部をA4版で作成し、3部ともお持ちください。
控えは受付印を押してお返しします。提出された正・副の書類は、お返ししません。
- 2 協議受付から回答までは、2週間程度かかります。余裕をもって協議の手続きをしてください。
- 3 山留の親杭に使用するH鋼は、250mm×250mm以上の角で計画してください。やむを得ず、レール又は200mm以下の角のH鋼を使用する場合は、本区技術指導担当に相談してください。
- 4 歩道防護施設、防護柵や街路樹、街路灯を一時撤去したり、移設したりする場合は、別の新たな申請が必要です。

協議上の留意事項

- ① 副本の協議書、委任状、誓約書等は白黒コピーでも良いですが、添付する写真はカラーとしてください。
- ② 添付図面のうち、区道と敷地との道路境界表示は、「朱色」で記入してください。
- ③ 掘削深度の数値は、山留計画図中にはっきり明示してください。また、山留杭を引抜かない場合は、埋め殺しの字句は用いず「残置」と表記してください。
- ④ 道路境界との「離れ」を図面上に表示してください。
 - ・ 建物の平面図及び断面図には、仕上がり外壁から道路境界までの「離れ」を記入して下さい。
 - ・ 山留計画図の平面図及び断面図には、H鋼・SMW等の外面から道路境界までの「離れ」を記入してください。
 - ・ H鋼外面からの「離れ」は、50mm以上としてください。なお、50mm以上取れない場合のH鋼は引抜くこととし、本区技術指導担当に相談してください。
 - ・ SMWの場合は、外面から境界まで50mm以上としてください。
 - ・ シートパイルその他についても同様とします。

そのほか、現場前面道路に沿って工事施工上の支障となる物件（下記の例参照）を調査し、敷地案内図等に図示してください。

雨水桧、街路樹、街路灯、掲示板、郵便ポスト、人孔、ハンドホール、下水桧、交通標識
防護柵、パーキングメーター等

車両乗入れ等で山留壁の外側（民地内に限る）を浅く掘削する場合にも、簡易な山留計画図が必要です。

【※本協議と同時に、着手完了届（別様式）を提出してください。ただし、同一施工者名で既に提出済みであるときは、再提出の必要はありません。】

案内図・山留根伐工事仕様書と山留計画図には、必ず見出しラベル（インデックス）を付けてください。

協議書類のとり込みは、必ず下の番号順にしてください

（協議の際のチェック・リストとしてもご利用いただけます）

- | | |
|--|---|
| 1 沿道掘削施工協議書 | 掘削期間は、地下基礎構築が終わり、埋め戻しが完了するまで
掘削範囲の沿道延長は、区道に面した敷地全体の延長距離を記入 |
| 2 委任状 | （建築主から施工者への委任） |
| 3 復委任状 | （施工者から現場監督者への委任） |
| 4 誓約書 | （建築主及び施工者の連名） |
| 5 建築仕様概要書 | |
| 6 建築確認通知書の写し | |
| 7 東京ガス㈱との事前協議録の写し | |
| 8 工事工程表 | （全体工期記載のもの） |
| 9 現地案内図 | |
| 10 建物配置図・土地求積図・面積表 | } なるべく1枚の図面にまとめてください |
| 11 山留、根伐工事仕様書 | |
| 12 山留計算書並びに土質調査表 | （乗入れ構があるときは、その計算書も添付してください） |
| 13 山留計画図（平面図・断面図） | （H鋼等の外面と道路境界との「離れ」を記入してください） |
| 14 平面図（地下各階及び地上1階のみ。地下室がないときは、1階床梁及び地下ピット図と1階） | |
| 15 断面図 | （地下を含む意匠断面図） |
| 16 前面道路高低測量図 | （3～5mピッチ 境界及び道央） |
| 17 前面道路埋設物調査図 | （電気、ガス、水道、下水道、電話・・・1枚に断面図、平面図を収める） |
| 18 現場カラー写真 | （前面道路及び敷地） |

回答を受け、施工に当たっては事前に次の立会い部署に連絡してください。

（連絡先） 環境土木部道路課道路保全係

電話：3546-5429

協議書の提出先 中央区環境土木部管理調整課占用係

電話：3546-5416～8